

2016 年度 入学 試験 問題

世界史 B

(試験時間 13:15~14:15 60分)

1. この冊子は、出願時に選択した科目の問題冊子です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙には、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入およびマークしてください。解答欄以外への記入およびマークは無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。また、マーク解答用紙を記述解答用紙の下敷きに使用しないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入およびマークしてください。
7. マーク解答用紙への受験番号の記入およびマークは、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

I 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(35点)

14世紀以降、ギリシア・ローマ文化のいわゆる古典古代の文化を模範として、新たな人間の価値観や世界観を追求することを根本精神としたルネサンス（「再生」）^①は、イタリアを起点にヨーロッパ各地へと伝播していった。

ルネサンス初期の代表的文学作品としては、人間の心の内面を描いたダンテの『神曲』^②や官能的恋愛を描いたペトラルカの A、さらにボッカチオの『デカメロン』などが挙げられる。また、絵画では写実主義絵画の先駆者ともいわれる B が、「聖フランチェスコの生涯」や「東方三博士の礼拝」などの名作を残した。

15世紀に入ると、「花の都」とうたわれたフィレンツェを実質的に掌握していたメディチ家が、莫大な富を元手にルネサンスを保護していた。メディチ家の最盛期の当主といわれるロレンツォ亡き後に家督を継いだピエロは不慮の事故死を遂げたが、その後当主を継承したジョヴァンニは、16歳という若さで枢機卿になり、1513年にはローマ教皇 C として即位し、彼の時代にルネサンスは最盛期を迎えたともいわれている。

その後、ルネサンスの舞台がフィレンツェからローマへと移行していく中で、優れた芸術家たち^③が次々と登場し、絵画や彫刻などに新たな技法をもたらした。たとえば、巨匠建築家の D は、カトリックの総本山のローマにある「サン=ピエトロ大聖堂」の改築を指揮したといわれている。しかし、イタリア戦争^④による外国軍の度重なる侵攻や、ローマ=カトリック教会が、宗教改革に対する対抗措置として文化の規制を強化したことなどにより、イタリアにおけるルネサンスはその活力を次第に失っていくことになった。

他方、北イタリアの諸都市と深い関わり合いをもっていたネーデルラントでも早くからルネサンスが開花し、精密な写実性に特徴のある E 派の礎を築いたファン=アイク兄弟、「農民の踊り」や「子供の遊び」などの作品で民衆生活を描いた F といった名高い画家を輩出した。フランスでは、巨人の父子を題材にして社会の因習を風刺したラブレールの G や、ボルドー市長としてユグノー戦争の対応に苦慮した人物としても知られる『随想録』の作者 H が登場し、ドイツでは、I が多くの銅版画で名を馳せ、さらに J は、『愚神礼讃』など

を著した友人のエラスムスの肖像画を描いた。イギリスでは、ボッカチオの影響を受けたチオーサーが **K** を著し、16世紀後半から17世紀前半にかけては、シェークスピアがイギリス最大の劇作家として活躍した。

ルネサンスにおいては、文芸や芸術分野のみならず、科学や技術も大きな進歩を遂げ、それは、後のヨーロッパ社会の基盤形成に多大な影響を与え、17世紀の一層の知的革新たる科学革命へとつながっていった。

【設問Ⅰ】 上記の文章の空欄 **A** ～ **K** に入るもっとも適切な語句を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 下線部①について、ルネサンスの根本精神を表す語句を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅲ】 下線部②について、『神曲』はラテン語ではなく、イタリアの方言で書かれた作品である。その方言の地域を以下の中から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① a) ポローニヤ
- ① b) トスカナ
- ① c) ジェノヴァ
- ① d) ヴェネツィア
- ① e) エミリア

【設問Ⅳ】 下線部③について、フランソワ1世の宮廷に招かれ、フランスで没した芸術家は誰か。以下の中から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。

- ① a) ボッティチェリ
- ① b) ミケランジェロ
- ① c) レオナルド=ダ=ヴィンチ
- ① d) ラファエロ
- ① e) ドナテルロ

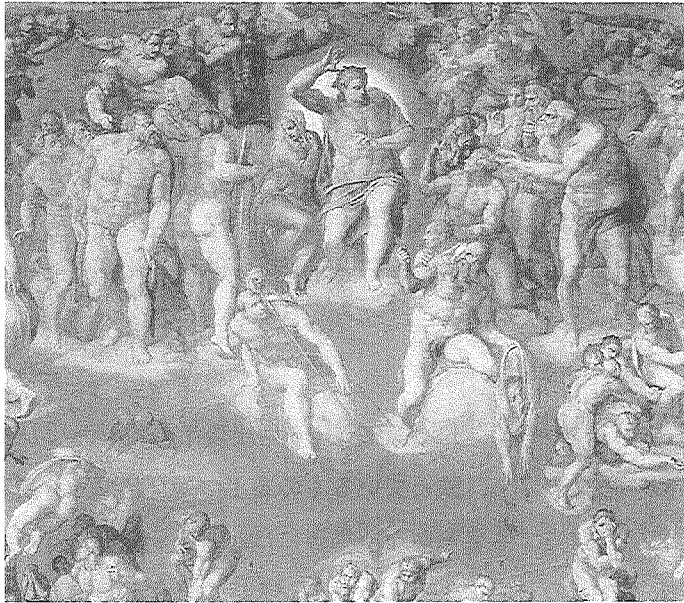
【設問V】 下線部④について、イタリア戦争に関する以下の文のうち、誤っているものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。該当するものがない場合には、㊸をマークしなさい。

- ㊶ この戦争は、フランス王シャルル8世のイタリア侵入がきっかけとなって起こった。
- ㊷ この戦争は、カトー=カンブレジ条約の締結によって終止符がうたれた。
- ㊸ この戦争は、イタリアの覇権をめぐるハプスブルク家とヴァロワ家の戦いでもあった。
- ㊹ この戦争中に、フランソワ1世はオスマン帝国のスレイマン1世と協定を結んだ。

【設問VI】 下線部⑤について、14世紀から16世紀後半の科学および技術の革新に関する以下の文のうち、誤っているものを1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。該当するものがない場合には、㊸をマークしなさい。

- ㊶ 火砲などの利用によって、戦術が大きく変化し、封建騎士の没落につながった。
- ㊷ 羅針盤などの改良によって、大航海時代における遠洋航海術が可能になった。
- ㊸ 活版印刷の実用化は、知識の向上やルターの宗教改革などに貢献した。
- ㊹ 天動説に異を唱えたコペルニクスの天球回転論が出版された。

【設問Ⅶ】 以下の壁画は、システィナ礼拝堂の祭壇に描かれた、ルネサンス期最大のフレスコ画である。この作品名を記述解答用紙に記入しなさい。



(出典：『世界史B』実教出版，p.193，2014年。)

II 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(33点)

人は、太陽の明かりに似た光を求めてきた。古くには、木の枝や草を燃やして、暗闇を照らす光を得た。古代ギリシア時代において、光は哲学の分野であった。ギリシアの哲学者であり、「万学の祖」と称された **A** は、第二哲学の自然学において、光を取り扱っている。光と闇に注目し、「色は光と闇、白と黒の間から生じる」とした。すべての色は白と黒の混合の割合でつくられ、中間の色は黄、赤、紫、緑、青と考えたのである。

古代から中世までは、人はオイルランプによって光を得ていた。発見された最古のものは、旧石器時代後期に属する、フランスのラ・ムート洞窟出土の砂岩製ランプと言われる。この洞窟は、**B** の洞穴絵画で知られる世界遺産「ヴェゼール渓谷の先史的景観と装飾洞窟群」の一つで、**B** の洞穴絵画も、こうした砂岩製ランプで照らしながら、現生人類に属する **C** が描いたと考えられている。燃料には、獣脂や植物油が用いられ、18世紀後半になると鯨油、20世紀には石油が用いられるようになった。① 当時は、家の外を明るくするという発想はあまりなく、特別な日以外は街路や家の外が照らされることはなかった。

17世紀になると **D** が光の粒子説を主張するようになる。近代物理学の創始者とされる **D** は、光の性質についても研究を行っていた。プリズムを使って太陽光を分解して白色光がプリズム混合色であることを発見し、光のスペクトル分析を通して光の粒子説を主張したのであった。その後、光は電磁波の一種という波動説が主流になるものの、20世紀に入って **E** が「光は波でもあり粒子でもある」という二面性を発見し、この光量子の理論に関する業績に対し1921年にノーベル物理学賞が与えられている。

さて、18世紀に入ると、**F** をコークスにするために生じた廃棄物としての **F** ガスを利用したガス灯がイギリスに登場する。それまでの明かりは、燃料と灯芯が一体化されていたため、自立型の明かりであった。一方、ガス灯には灯芯がないため、燃料は適切な場所で作って、明かりは使いたいところで使えるようになった。つまり、燃料を遠くから供給する中央供給システムの導入が可能になったのである。そのため、イギリスのロンドンの地下通路には、ガス灯のために配管が張り巡ら

された。② 世界に先駆けて第一次産業革命が起きたイギリスでは、家庭の明かりよりも工場を照らす明かりが求められていたことと、配管の手間や難しきから、主に工場や街路用としてガス灯が使われた。オイルランプよりも明るく、点けたり消したりするのが簡単であったため、イギリスの街路には瞬く間にガス灯が普及していく。オイルランプは人が燃料を補給し確認をしなければならないが、ガス灯は配管さえされていればよく、金銭的にも合理的なものであった。とはいえ、ガス灯は黄色い炎が燃えているだけで、今でいうと15ワットくらいの明るさしかなかったと言われる。

③ 19世紀後半に登場するのが、第二次産業革命を支えた動力の一つである電力を用いた明かり「電灯」である。④従来のオイルランプ、ガス灯に比べると安定した光を得られるのが特徴であった。イギリスでスワンが発明した白熱電球を、商用化できるよう改良したのが **G** である。**G** は一般的にアメリカの「発明王」として知られるが、むしろ彼は企業家であった。白熱電球を事業化するために、まず電球の改良に取り組み、その後ガス灯とガス中央供給システムを徹底的に調べ、電力供給システムを作り上げた。その際、古いシステムを新しいシステムに変換し、質を上げて競争することが有効だと考え、消費者が慣れ親しんでいる外観をそのまま使うために、既存のガス灯用の溝を使って電線を引き、ガス灯用の燭台に電球を取り付けて売り出すという徹底ぶりだった。ちなみに、1878年に **G** 電気照明会社が設立されているが、この会社が現在のゼネラル=エレクトリック社の前身であり、当時この会社でエンジニアとして働いていたのが、大量生産によって自動車の大衆化を実現し、のちに「自動車王」と呼ばれることになる **H** であった。

さて、ガス灯はすぐに電灯に代替されたわけではない。このような現象は帆船効果と呼ばれる。⑤蒸気船の登場によって、すぐに帆船が消えたわけではなく、帆船と蒸気船の並存の時代が続いた。これが帆船効果である。同じように、ガス灯会社は電灯会社と競争するために、ガスの供給や配送、ガス灯システムの改良を図り、生産性向上に努めた。また、1891年には白熱ガス灯という白い光のガス灯が登場し、当時は黄色い光であった白熱電球よりも好まれた。とはいえ、並存の時代は長く続くわけではなく、20世紀には電灯にとって代わられてしまう。20世紀中頃には白熱電球は蛍光灯に、21世紀に入って蛍光灯は発光ダイオードに代替されようとしている。エネルギー消費が小さくなるとともに、人が作る明かりは太陽の白い光に近づいている。

【設問Ⅰ】 前の文章 **A** ～ **H** 内に入るもっとも適当な語句を記述解答用紙に記入しなさい。

【設問Ⅱ】 下線部(ア)～(イ)に関する以下の問の答えを記述解答用紙に記入しなさい。

問1 下線部(ア)について、自動車以外にも大量生産・大量消費によって家庭電化製品が普及し、アメリカの暮らしは豊かになった。こうした1920年代のアメリカの経済的好況を、フーヴァー大統領は何と呼んだか。5文字で記入しなさい。

問2 下線部(イ)について、19世紀にイギリス海軍の帆船「ビーグル号」に乗って南半球の動植物を観察し、その調査結果から、自然淘汰による適者生存を基本とする理論を発表したイギリスの学者は誰か。

【設問Ⅲ】 下線部①～⑤に関する以下の問の答えをマーク解答用紙にマークしなさい。

問1 下線部①について、19世紀のアメリカではロウソクや灯火用の燃料として捕鯨が盛んに行われており、ペリーによる日本開国の要求は、捕鯨船の補給基地確保の目的もあった。その後、1858年に結ばれた日米修好通商条約によって開港された港として、下記から正しいものを1つ選びなさい。

- ① 長崎，兵庫，浦賀
- ② 下田，新潟，箱館
- ③ 長崎，神奈川，箱館
- ④ 下田，浦賀，新潟
- ⑤ 長崎，兵庫，新潟

問2 下線部②について、イギリスで最初の産業革命が起きたのは、「資本」「市場」「労働力」の条件が整っていたからだと言われる。以下の説明文のうち、イギリスにおけるこの3つの条件について説明した文章として誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合には、㊦を選びなさい。

- ㊤ 18世紀のイギリスでは人口増加により穀物不足になった。穀物増産のために、共有地・耕作地を柵などで囲い込み、非合法的に農民の土地を奪う第二次囲い込みが行われ、土地を失った農民が都市の工場労働者となった。
- ㊥ 毛織物工業では、問屋制やマニファクチュアが導入されて生産の合理化が進み、18世紀にはイギリスは最大の毛織物工業国となった。
- ㊦ 17世紀後半、イギリスの航海法制定や改正、北アメリカ・アフリカ進出を背景に、イギリスとオランダ間で戦争が勃発した。3回に渡る戦争の末、イギリス優勢となり、最終的に海上覇権をイギリスが勝ち取った。
- ㊧ イギリス東インド会社軍は、1757年のプラッシーの戦いでベンガル太守およびフランス連合軍を破り、フランス勢力をインドから駆逐した。

問3 下線部③について、1861年～1865年にかけて、アメリカでは南北戦争が起きた。当時の南部と北部に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は、㊦を選びなさい。

- ㊤ 南部諸州が結集したアメリカ連合軍の首都は、ゲティスバーグであった。
- ㊥ 民主党の大統領候補として当選したリンカンは、南北戦争終結後、南部人に暗殺された。
- ㊦ 北部の産業資本家は、連邦政府による統制を嫌い、イギリスとの自由貿易を望んだ。
- ㊧ ストウ著『アンクル=トムの小屋』は、北部における奴隷解放運動の高揚に影響を与えた。

問4 下線部④について、第二次産業革命が起こると、工業化によって伝統的経済基盤を失った人々が、ヨーロッパ大陸からアメリカ合衆国へ移った。当時の移民に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。なお、該当するものがない場合は、㉔を選びなさい。

- ㉑ 1840年代後半～50年代には、主にアイルランド系とドイツ系の移民が流入し、北部の工場の労働力となった。
- ㉒ 1869年に完成した大陸横断鉄道の建設にあたって、中国系移民は重要な労働力であった。
- ㉓ 西欧・北欧からの移民は、1880年代以降に急増し、新移民と呼ばれた。
- ㉔ 日系移民は、ゴールドラッシュを機に太平洋岸に到来した。

問5 下線部⑤に関連して、蒸気船の優位性を決定付けたのは、1869年のスエズ運河開通であったと言われる。自力航行できない帆船は、人工掘削の狭い運河を通れなかったためである。このスエズ運河はどこどこを結ぶ運河か。以下から正しいものを2つ選びなさい。

- ㉑ 北海
- ㉒ 黒海
- ㉓ 紅海
- ㉔ バルト海
- ㉕ 地中海
- ㉖ 太平洋
- ㉗ 大西洋
- ㉘ インド洋

III 次の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。(32点)

世界の新聞はどのような年月日を表記しているかをみてみよう。

まず、ヨーロッパをみると、フランスのルモンド紙、ドイツのディヴェルト紙は、年月日というより、日月年という表記順を採用していて、年表記はただ四桁の数字を記すだけで、ことさらキリスト紀年（西暦紀年）とは明記していない。英語圏であるイギリスのタイムズ紙とアメリカのワシントンポスト紙は、月日の表記順が入れ替わっているだけで、紀年表記にかんしてはヨーロッパの二紙と同じ表記法を採用している。ここでいう紀年とは、年を単位として、経過した時を年数をもって数える方法をいう。キリスト紀年とは、キリストの誕生年から数える紀年法である。この暦法は、⁽¹⁾1年を12ヶ月365日とするエジプトの 暦をもとに、古代ローマ時代に修正された 暦を、さらに16世紀中頃にローマ教皇が改暦した 暦によるものである。

新聞をみるかぎり現在のヨーロッパ・アメリカではキリスト紀年だけが使われていると多くの人は考えがちだが、必ずしもそうとはいえない。例えば、イギリスでは、正式な文書には西暦と女王即位年の二つの紀年が併記されている。また歴史的にみると、近世以降のヨーロッパでこのキリスト紀年にたいして独自の紀年法を採用したのがフランスである。フランスでは1789年に革命が起り、王制が廃止された。そして、1793年から1805年まで 暦が導入された。しかしこれは、⁽²⁾1806年にもとのキリスト紀年にもどされてしまう。紀年は、政治をおこなう者にとって大きな意味をもち、国民に支配者の交替を告げる象徴的な政治行為である。これは洋の東西を問わず同じといえる。

イスラーム諸国の新聞においても年月日の表記は西暦と 暦による紀年法との併記である。アラブ首長国連邦のアルアラビーア紙をみると「2015 4月21AD-火曜日 3 ラジャブ 1439AH」となっている。この暦は、⁽³⁾イスラーム教の創始者であるムハンマドがメッカからメディナに移った聖遷の西暦622年7月16日を元年として、そこから通年的に年を数える紀年法である。622年から数えると2015年は1394年目にあたる年だが、1439年となっているのは、1年を354日で数える純粋な 暦を使用しているからだ。

中国の新聞である人民日報の日付は「2015年4月21日 星期二 乙未 三月初三」とある。西暦のつぎに、「星期二」は火曜日、「乙未」は干支紀年法の年名で、「三月初三」とあるのは旧暦の月日である。旧暦とは農暦ともいい、明末にイエズス会宣教師により作られ、清代から使用されてきた G 暦のことである。中国が「2015年」という紀年表記を国として公式に採用したのは1949年で、中華人民共和国成立宣言文のなかで、世界大多数の国家と同様の年号を採用するとして、キリスト紀年を「公元」という名称で導入することが宣言された。中国共産党グループはすでに、1937年には公元を使用しており、これはソヴィエト連邦が採用していた「われらが年代（ナシャイ・エイリ）」という紀年法にならったと考えられる。これ以上に歴史的に重要なことは、公元の導入により前漢の武帝以来1900年間にわたって使われつづけてきた年号による紀年法が廃止となったことである。台湾では、1912年の中華民国建国を紀元とする中華民国紀年を公式な紀年法として採用しており、西暦2015年は中華民国104年にあたる。

最後に、日本の隣国である韓国と朝鮮民主主義人民共和国の新聞をみてみよう。1920年に創刊された韓国の代表的な新聞の一つである東亜日報の日付欄は「檀紀4348年（陰暦3月3日丁卯）2015年4月21日火曜日」と表記している。ここの最初に出てくる「檀紀」とは、檀君紀年といって、朝鮮神話にでてくる最初の王である檀君の即位年とされている紀元前2333年から数える紀年法である。つぎに、朝鮮民主主義人民共和国の労働新聞をみると、その日付欄は「主体104（2015）年4月21日（火曜日）」とある。最初の「主体」とは、金日成の生誕年である1912年を起算年として年を数える紀年法で、1997年から使用されはじめた。

キリスト紀年は世界の共通紀年としていま現在の世界で使用されている。しかし同時に、世界の多くの国の新聞では複数の紀年法を年月日の表記に使っている。その国の歴史や伝統に根ざす独自の紀年と、世界共通紀年であるキリスト紀年の組み合わせである。このように年月日だけを考えてみても各国の歴史と伝統文化にもとづいた人々の生活のいとなみが各国独自のやり方で紀年表記にあらわれているのである。

（佐藤正幸『世界史における時間』（世界史リブレット128、山川出版社、2009年8月）を一部改編した。）

【設問Ⅰ】本文中の A ～ G 内に入る暦に関連するもっとも適切な語句を、選択肢④～⑩の中からそれぞれ1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号は2度以上使用しないこと。

- ④ ヌマ ⑤ ギリシア ⑥ バビロニア ⑦ ユリウス
⑧ マヤ ⑨ ヒジュラ ⑩ ヒンドゥー ⑪ ジャラリー
⑫ グレゴリウス ⑬ 太陽 ⑭ 太陰 ⑮ 太陰太陽
⑯ 太初 ⑰ 共和 ⑱ 授時 ⑲ 時憲 ⑳ 貞享

【設問Ⅱ】下線部(1)～(7)に関する以下の問いに当てはまるもっとも適切な人名を記述解答用紙に記入しなさい。

- (1) 今日のようにキリストの誕生年から数える方法は、6世紀中頃に考案された。もともと西暦4～5世紀頃キリスト教徒の間では、「殉教者の紀元」として、キリスト教徒の大迫害を行ったローマ皇帝の即位年284年から数えられていたという。この大迫害を行ったローマ皇帝は誰か。
- (2) クーデタにより実権を握り、その後皇帝に就いて以前のキリスト紀年に戻したのは誰か。
- (3) この暦法を制定した第2代正統カリフは誰か。
- (4) 明末に徐光啓とともに暦書を作成し、清代も引き続き暦の作成に貢献し、順治帝の時には天文台長に就任したイエズス会宣教師は誰か。
- (5) 中華人民共和国成立宣言文の中で、キリスト紀年の導入を宣言した主席は誰か。
- (6) 中華民国紀年は、南京に中華民国臨時政府が誕生した日を1912年1月1日とする中国ではじめての公式的な太陽暦の採用であった。この時に臨時大總統に就任したのは誰か。

- (7) 金日成の死後、その喪が明けた年に朝鮮労働党総書記に就任し、主体紀年法を決定したのは誰か。

【設問Ⅲ】 波線部(あ)い)に関する以下の問いに答えなさい。

- (あ) 現職のニクソン大統領を辞任に追い込んだワシントンポスト紙のスクープとなった事件を選択肢①～④から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。なお該当するものがない場合には⑤を選びなさい。

- ① ドレフュス事件
- ② ウォーターゲート事件
- ③ チリ軍事クーデタ支援事件
- ④ ポジナニ事件

- い) 1920年には、東亜日報だけでなく朝鮮日報も創刊された。朝鮮人資本による新聞社の創刊が許可されたのは、ある出来事を契機として、日本の植民地政策が武断政治から文化政治に転換されたことによる。その出来事を選択肢①～④から1つ選び、マーク解答用紙にマークしなさい。なお該当するものがない場合には⑤を選びなさい。

- ① 五・三〇事件
- ② 六・一〇事件
- ③ 三・一運動
- ④ 五・四運動

